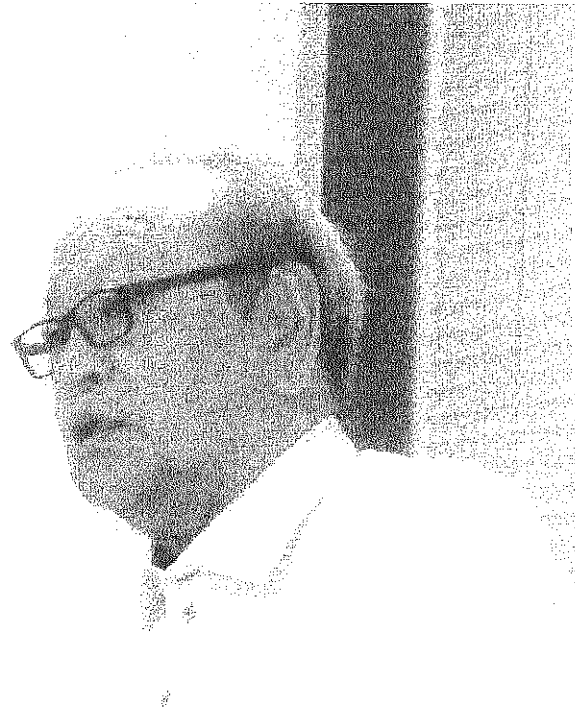


# 建交労 かながわ

発行 建交労神奈川県本部機関紙部  
〒 231-0025  
横浜市中区松陰町 2-7-17  
リバーハイツ石川町 304  
☎ 045-662-2340  
FAX 045-641-5453  
Email ctg-kana@jasmine.ocn.ne.jp

県本部伊藤委員長



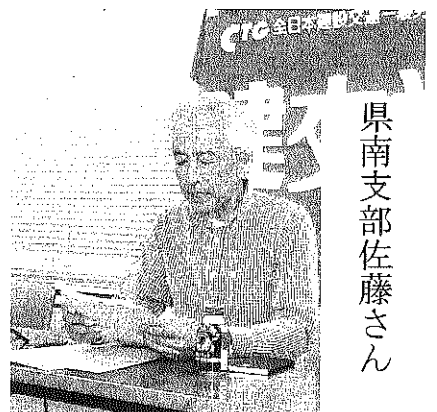
## 建交労

## 神奈川県本部

## 第40回委員会

## 成功裏に終了

県南支部佐藤さん

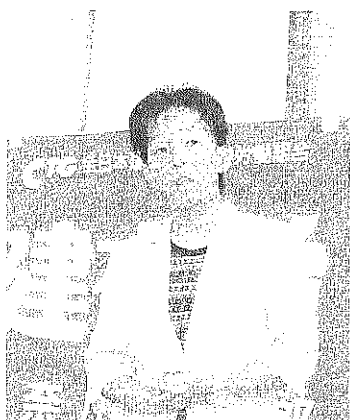


9月8日(日)神奈川県民センターにおいて第40回建交労神奈川県本部委員会が開催されました。

### 運転手の労働環境をリアルに暴露

開会にあたって斉藤書記次長から、先日、神奈川県内の踏切内で発生した電車と大型トラック

県本部斉藤書記次長



クの死亡事故について、自らが職業運転手としての立場から、運転手の労働条件や労働環境などの実態をリアルに報告しながら開会の挨拶を行った後、議長に県南支部の佐藤氏が選出され議事が進行しました。

### 建交労結成 20年の節目で

勢の大きな特徴であると認識すべきだと強調しました。平和の祭典である原水禁世界大会には、県本部高橋書記長と清野執行委員の2名が参加するという画期的な取り組みで、核廃絶に向けた貴重なたたかいにわれわれも積極的に参加をしていこうと呼びかけました。

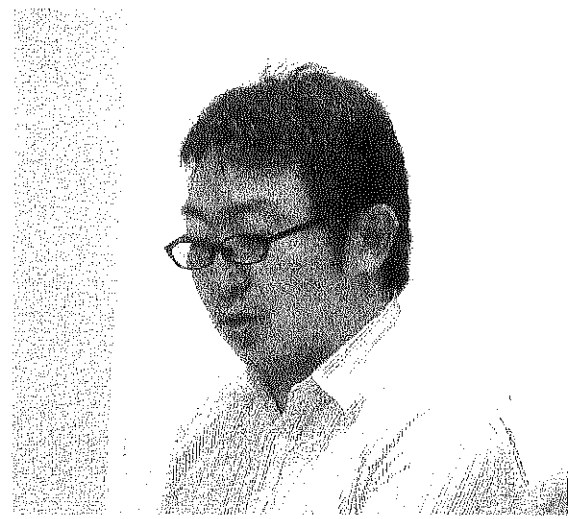
### 平和への道を国民的

### たたかいで

執行部を代表して挨拶に立った県本部伊藤委員長は、建交労が結成されて20年の歴史が費やされてきたことを報告し、7月の参議院選挙における市民と野党の共闘で全国32の一人区で10名が勝利したこと、憲法発議に必要な三分の二の議席を自公が確保できなかったことは、安倍総理がマスコミに対して参院選で勝つたといくら吹聴してみても決して彼らの勝利ではなく、われわれの地道な運動のおおきな前進であることを政治情

さらに国会における情勢について、自公は国民生活破壊の消費税増税を強行した後、改憲への道を突き進もうとするだろうが、われわれは人間らしく働き、生きる平和への道を国民的たたかいで前進させるとともに、建交労結成20年の節目を組織の飛躍的拡大に向けて取り組みを強めようと訴えました。

裏面へ



=====  
「私たちが取り組む中心課題  
は2000名組織建設と報告す  
る高橋書記長  
」  
=====

議案の提案にたった  
高橋書記長は、中心的課  
題はなんとしても組織  
建設だと強調、

**各支部・分会が  
創意工夫を凝らした  
取り組みを**

県本部2,000名の  
組織作りを目指して奮  
闘してきたが現状は到  
達し切れていないと報  
告し、各支部・分会で拡  
大に向けた具体的取り  
組みを工夫し実践する  
ことが求められている  
ことを提起しました。

**組織間交流も**

同時に多業種で構成  
されている建交労は組  
織間交流についても具  
体化していくことの必  
要性もあわせて提起し  
ました。

**新たな業種の  
労働者を**

今後、軽運送業に携わ  
る労働者を建交労に結  
集するための運動の取  
り組みについて具体化  
していく構想について  
も報告されました。  
県本部300名の仲  
間が当面100名の組  
織拡大に取り組み、仲間  
が増えた喜びをみんな  
で分かち合うことがで

きるために奮闘しよう  
と強調しました。

**各支部・分会からは  
相次いで組織拡大へ  
の決意が**

討論での口火を切っ  
た県南支部からは、この  
一年間組織拡大を追及  
してきたが減少に歯止  
めがかかっているの  
が現状だが、各種の行動  
に積極的に取り組んで  
きたと報告。

いま県南支部にとつ  
て一番必要なのは組織  
拡大と強化であり学  
習・教育活動を進めて若  
い幹部を育成し、世代交  
代を計りながら、方針に  
提起された組織間交流  
にも取り組んでいきたく  
いと発言。

ダンブ支部からも、軽  
運送業に携わる労働者  
の組織化に向けて具体  
的な取り組みを進めて  
組織拡大を目指したい  
と決意が述べられました。

**積極的に県労働委**

**員会への  
傍聴参加を**

三昭運輸分会からは  
北川書記長が会社との  
団体交渉に社労士が介  
入してから、労使の正  
常化が妨げられ、やむ  
を得ず労働委員会に救  
済申し立てを行ってい  
る現状報告と、この間  
全国から団体署名と個  
人署名が寄せられ、争  
議解決に向けた大きな  
力になっていっていると報告。  
ひきつづき労働委員会  
における傍聴を始め皆  
さんの協力をお願いし  
たいと発言がありました。

**アンケートで**

マイシイ分会からは、  
結成4年目になること  
と、地道に取り組んでき  
た各職場における独自  
のアンケート活動が大  
きく広がっていること  
が報告され、アンケート  
活動を通して必ず組織  
の拡大に結び付けたい  
と決意表明がありました

群馬県安中市で8月31日～9月2  
日に開催された結成20年・第21  
回定期大会に傍聴者として参加した  
神奈川県南支部の佐藤委員長は大会  
3日目に行われた争議団紹介で壇上  
に立ち、労働委員会で不当労働行為  
救済を申し立ててたたかっている三  
昭運輸分会の現状を報告するととも  
に、全国の仲間から寄せられている  
労働委員会宛の署名に対する感謝と  
御礼を伝え、引き続いての協力を大  
会参加者に訴えました。

た。  
討論の最後は高橋書  
記長の原水禁長崎大会  
に参加した報告があり  
ました。  
「大会の印象につい  
て、原水禁運動について  
は頭の中では理解して  
いたつもりだったが、実  
際に大会会場での各国  
からの発言を聞くと、唯  
一の被爆国日本は何を  
やっているんだ！核兵  
器廃絶に向けて早く立  
ち上がれ！といわれて  
いるように感じた。8月  
の長崎は核兵器廃絶に  
1色に染まっており、特  
に原爆資料館で眼につ  
いたのは、一瞬にして家  
族の絆を断ち切られた  
悲惨な光景を展示して  
いるパネルや資料に対  
して熱心にメモを取る  
小・中学生や外国人の姿  
でした。

被爆後74年の歴史の  
中で被爆者から子や孫  
に核兵器の廃絶に向け  
て平和への願いが語り  
継がれていることを強  
く感じた。」と報告。

休憩後、答弁に立った  
高橋書記長は積極的に  
組織拡大に向けた創意  
工夫した取り組みを各  
支部・分会が取り組ん  
でいこうと締めくくりま  
した。

最後は清野執行委員の  
団結ガンバローで委員  
会を終了しました。